

地域の持続可能な発展事業 ～がんばろう森本商店街「SDGs宣言」～

団体名●新ゼミナール／代表者名●新広昭（総合研究所・特任教授）

はじめに

金沢市の東部に位置する森本商店街の事業者で組織する森本商店街振興会（以下、振興会）は、同商店街を“SDGs商店街”としてアピールすることにより、森本地域の持続可能な発展に寄与する目的で、金沢市が公募していた「商店街多様な人材活用推進モデル事業」に応募し、採択された。この公募事業は大学のゼミナール等と連携した取り組みであることが採択要件であることから、振興会から本学に連携の働きかけがあった。本学としても、地域に根ざした大学づくりの一環として参画・連携を了承し、2021年9月15日に本学と振興会との間で本件に関する覚え書きを取り交わした。本学からはSDGs・地域創生をテーマにゼミ活動を行っている新ゼミナールが担当することとなった。



覚え書き調印式

活動内容

本事業の内容は大きく分けて次の2項目である。

①10月7日と13日に振興会会員事業者の方のSDGsへの基本的な理解を深めた上で、店舗ごとにSDGsの取り組み目標を定めSDGs宣言を設定するための『がんばろう森本商店街SDGs勉強会』を開催した。勉強会では、担当教員（新）が『小さくともキラリと光る、地域から愛される商店街を目指して』と題してレクチャーした後、各店舗が自らの営業・経営内容がSDGsのどの目標に関連しているかを紐付けし、SDGs宣言を作成した。

②この取り組みのフォローアップとして、新ゼミナールの学生が各店舗に赴き、インタビュー調査を行い、SDGs宣言に基づく事業活動の進捗状況の確認と取り組みのブラッシュアップのアイデア出しを行うとともにインスタグラム（MORIMOTO_SEIRYO）で情報発信した。



現地調査出発式



SDGs宣言



現地調査の様子

成果、結果の考察

この取り組みには北陸放送も参画しており、ニュース、テレビCM、SDGsの特集番組などに取り上げられ、他の商店街からも注目されるなど認知度は向上したと考えられる。

今後の課題、展望

インスタグラムでの情報発信を森本商店街の方が自律的に行なっていくようにしていく必要があると考えている。